

外国語 1

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田中			実務 経験	無	職種	講師				

授業概要

英会話やIT分野の技術英語などを学びます。

到達目標

将来、仕事をしていく上で、英語を習得しておくことの意義と優位性をしっかりと理解し、意欲的に授業に取り組めるようになる。各授業で学習する「英文法」を理解し、読解とスピーキングができるようになる。外国語1～5での学習内容を把握する。

授業方法

学習範囲は、中学校・高校で学習してきた英語の範囲（主に中学校）の「英文法」とし、簡単なセンテンスレベルでの基本的な演習・音読をすることによって無理のない英文法の定着を図る。自ら文法ルールを発見できるよう短くわかりやすい文章なども配し、多角的に学んでいく。また、積極的に取り組んでもらうために、音読も行う。

成績評価方法

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

履修上の注意

将来的に英語を習得することの重要性を理解し、主体的に英語の学習に取り組む姿勢をつくることを重視する。講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義に出席するだけでなく、理解の浅い単元については自宅での復習をしっかりと行うこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

資料を配布する

回数	授業計画
第1回	ガイダンス英文法（外国語として英語を学習する目的と意義、そして学習内容を理解し、把握できる）
第2回	主語・動詞・文型（主語・動詞・文型の使い方を理解し、主語・動詞・文型を用いた英文を読解できる）
第3回	現在時制・過去時制（現在時制・過去時制の使い方を理解し、現在時制・過去時制を用いた英文を読解できる）

第4回	助動詞（助動詞の使い方を理解し、助動詞を用いた英文を読解できる）
第5回	未来時制と進行形（未来時制と進行形の使い方を理解し、未来時制と進行形を用いた英文を読解できる）
第6回	完了形（完了形の使い方を理解し、完了形を用いた英文を読解できる）
第7回	受動態（受動態の使い方を理解し、受動態を用いた英文を読解できる）
第8回	分詞（分詞の使い方を理解し、分詞を用いた英文を読解できる）
第9回	動名詞（動名詞の使い方を理解し、動名詞を用いた英文を読解できる）
第10回	不定詞（不定詞の使い方を理解し、不定詞を用いた英文を読解できる）
第11回	接続詞（接続詞の使い方を理解し、接続詞を用いた英文を読解できる）
第12回	分詞構文（分詞構文の使い方を理解し、分詞構文を用いた英文を読解できる）
第13回	比較（比較の使い方を理解し、比較を用いた英文を読解できる）
第14回	総復習(1)（外国語1の学習範囲を復習し、理解の浅い箇所の洗い出しをする）
第15回	総復習(2)（14回の結果をもとに再学習を行い、理解度を高めることができる）